

景気ウォッチャー調査 (沖縄地域) ～2025年3月調査～

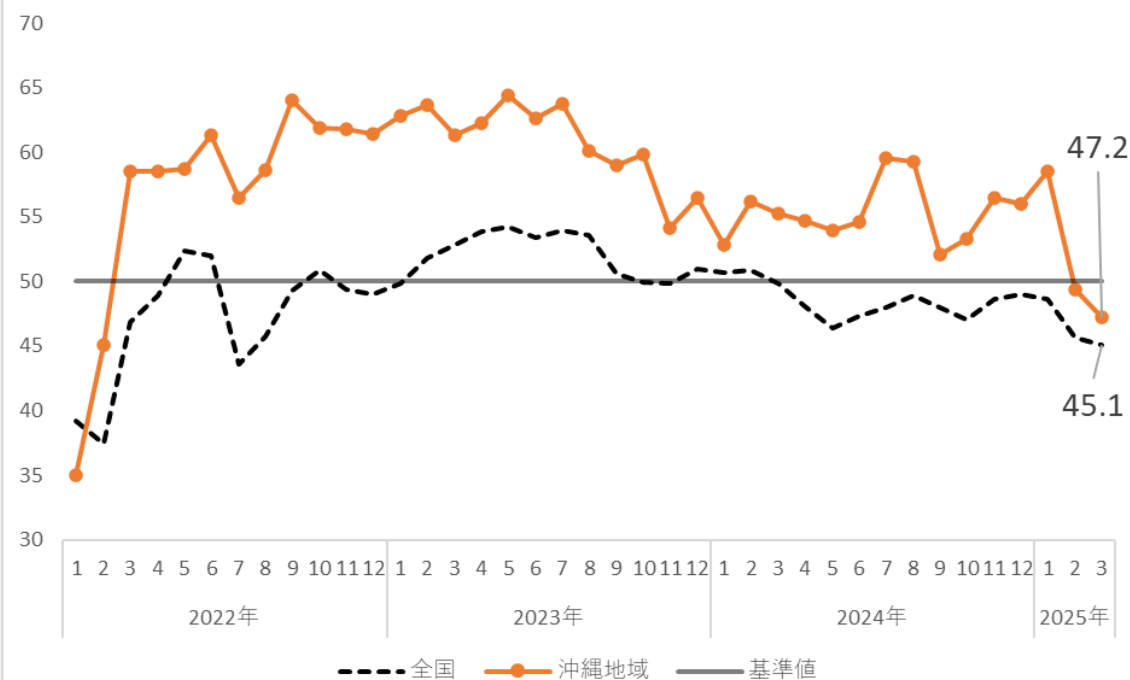
現状判断DI値が3年ぶりに2か月連続で50を下回り不況傾向
北部で開業予定の大型レジャー施設に一定の期待感

一般財団法人 南西地域産業活性化センター
メールマガジン

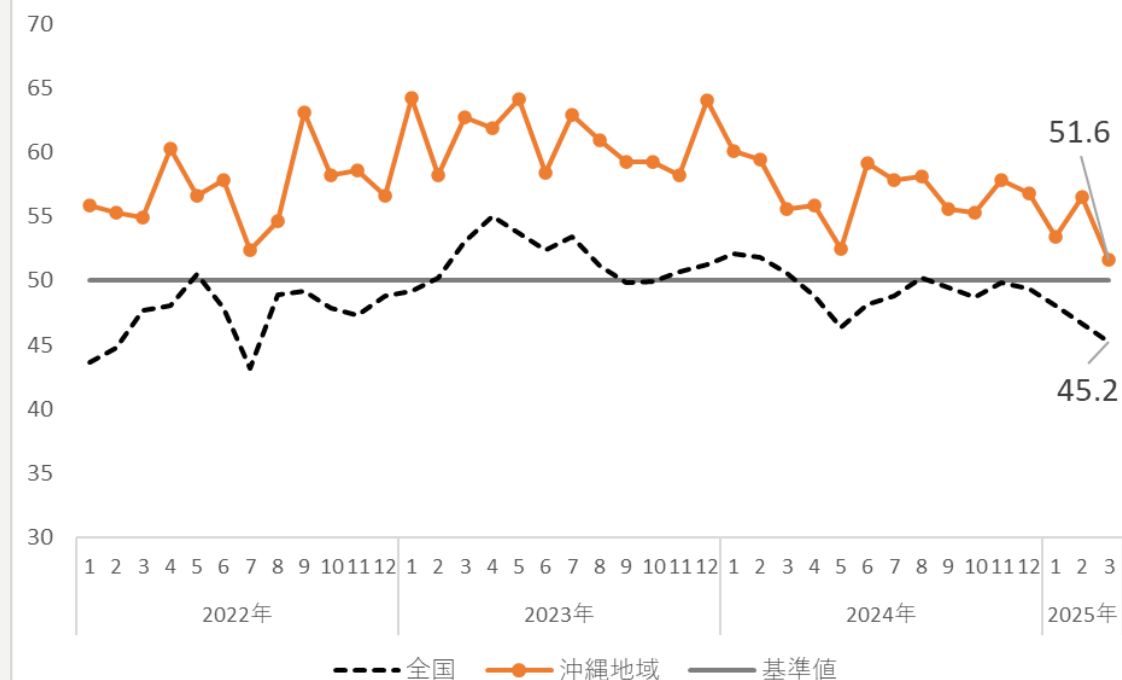
2025年3月調査DI値（季節調整値）

- 3月の現状判断DI（季節調整値）は、前月比2.2ポイント減少の47.2となっている。沖縄地域でDI値が2か月続いて50を下回るのは2022年2月以降3年ぶり、不況傾向が続く。
- 3月の先行き判断DI（季節調整値）は、前月比4.9ポイント減少の51.6となり、2か月ぶりに下降に転じているが、判断基準の50を上回っていることから2～3か月後の景気動向は好況傾向の見通し。
- 全国の現状判断DI値は45.1、先行き判断のDI値は45.2と共に減少傾向にあり、判断基準となる50を下回り、不況傾向が続く。

現状判断DI値（季節調整）



先行き判断DI値（季節調整）



現状判断のコメント①

- ・観光客の増加により、一部小売業の景気判断は好況である。
- ・宿泊業でも前年比で増加を維持しているが、昨年12月と比べ3月の伸び率は縮小している。
- ・県内重要な多いスーパー、旅行代理店、その他飲食店などでは価格高騰の影響により、県内需要が縮小している。

<家計動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

◎	コンビニ（経営企画担当）	・前年と比較しても観光客だけではなく地元客の人流も増えており、来客数は増加している。
◎	その他専門店〔陶器〕（製造）	・定番商品の売行きが良い。春は陶器業界が忙しく、客先もとても忙しそうにしており、景気の盛り上がりが見られる。
○	コンビニ（経営者）	・外国人観光客が増えており、来客数は増加している。
□	住宅販売会社（営業担当）	・単価の上昇に一服感があり、人手不足も落ち着きが見られる。今後は現在の状況が続く見込みである。
▲	スーパー（企画担当）	・売上は前年並みだが、価格高騰で節約志向が高まり、販売点数が前年を下回っている。
▲	観光型ホテル（企画担当）	・12月の販売室数が前年比28%増加なのに対し、3月は前年比8%増加で、プラス幅が小さくなっている。
▲	旅行代理店（マネージャー）	・年度末の予算削減により出張手配も少なく、春休みの特需もみられない。新年度に向け一段と厳しい状況が続くとみている。
×	その他飲食店〔バー〕（経営者）	・来客数が少ない上に単価も伸びない。仕入価格も全体的に値上がりして厳しい状態が続いている。

現状判断のコメント②

- ・ 企業動向関連をみると、窯業土石業では、公共、民間工事の需要は増加している。対して、食料品製造業では米や野菜類の値上がりにより、副食の動きが鈍化している。
- ・ 雇用関連では、求人情報誌や専門学校では求人が増加傾向にあり、特に新卒や軽作業関連と飲食関連、派遣で求人が増加している。一方、人材派遣会社では派遣料金の見直しに対して、これまで賃上げに応じていた派遣先も対応が難しくなっている。

< 企業動向関連 >

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

○	窯業土石業（取締役）	・ 下半期は公共、民間共に受注が増加し、売上は前期比で増加見込みである。
□	食料品製造業（役員）	・ 米や野菜類の値上がりの影響からか、食品関連、特に副食の動きが鈍い。

< 雇用関連 >

○	求人情報誌製作会社（営業）	・ 3 か月前の12月と比較して求人数は増加している。特に作業、軽作業関連とレストラン、カフェ関連、派遣の求人が増加している。前年同月比では、やや増加傾向にある。
○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・ 前月に続き新規の問合せが多く、業界全体で人手不足であるが、企業側も求人を選定している。
□	人材派遣会社（総務担当）	・ 求人案件に対して求職者の動きが鈍い。4 月以降の求職者数の動向に注視している
▲	人材派遣会社（経営者）	・ 例年この時期は派遣料金の見直しや、料金交渉が多く、中央政府では賃上げによる実績を出しつつあるなか、今までは応じていた賃上げを渋る派遣先が増加している。

先行き判断のコメント①

- ・ 県北部にオープン予定のレジャー施設の影響により北部地域の不動産供給が活発化し、建売個人住宅の問合せが増加するなど、住宅関連は好況である。
- ・ 対して、旅行関連や飲食店では、物価上昇の影響により観光需要の先行きが懸念されている。

<家計動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

○	住宅販売会社（役員）	・ 夏に沖縄県北部の大型レジャー施設がオープン予定となっており、北部地区の不動産供給が活発化しつつある。経済効果も期待できるとみている。
○	住宅販売会社（営業担当）	・ 個人住宅の建売の前向きな問合せが増加している。一方で、土地の不足により、注文住宅は減少している。金利の先高観もあり、消費者マインドの変化が起きているとみている。
□	コンビニ（経営企画担当）	・ 値上げによるコンビニ離れを不安視していたが、マイナスの影響は出ていない。しかし、価格が購買に影響を与えており、売上の構成が変化している。
□	その他サービス [レンタカー]（営業）	・ 先行きの受注状況は前年並みに推移しており、大きな変化はなく今後もこの傾向が続くとみられる。
▲	旅行代理店（マネージャー）	・ 世間では賃上げなど景気の良い話もあるが、企業としては単純に固定費が増えるため、出費を抑えるべく出張等の項目から削られている。物価の上昇傾向により個人消費もすぐには上向かないとみている。
▲	観光名所（職員）	・ 物価上昇で旅行意欲が低下しているとみている。一方で、大阪・関西万博の影響も出てくるとみている。
×	その他飲食店 [バー]（経営者）	・ 近所の20年続いた飲食店が2軒閉業しており、飲食業は厳しい状況である。来月から値上がりする品目も多く、景気が良くなる要因がみられない。
×	観光型ホテル（企画担当）	・ 3月の販売室数が前年比8%増加なのに対し、6月の予約室数は前年比30%減少とマイナスに転じている。

先行き判断のコメント②

- ・ 企業動向関連でも、北部の大型レジャー施設の開業による観光客の増加が期待されている。一方、原材料価格高騰による収益面への悪化が懸念されている。
- ・ 雇用関連では、派遣先や周辺企業から景気低迷に関する話が多く聞かれるようになっており、3月をピークに求人も減少するとの見通しがある。

<企業動向関連>

◎：良くなっている、○：やや良くなっている、□：変わらない、▲：やや悪くなっている、×：悪くなっている

○	食料品製造業（役員）	・ 観光客は増加傾向が続くとみられ、ゴールデンウィーク需要もあいまって食品関連の需要増加を期待している。
○	窯業土石業（取締役）	・ 次年度の上半期までは工事受注の見込みがあり繁忙が予想されるが、原材料価格の高騰等による製造原価上昇で収益面が懸念される。
○	輸送業（経営企画室）	・ 北部の大型レジャー施設が開業し、観光需要の増加による景気の好転に期待している。

<雇用関連>

▲	人材派遣会社（経営者）	・ 派遣先の状況や周辺企業から、景気低迷の話をする経営者が増加している。
▲	求人情報誌製作会社（営業）	・ 3月が求人数のピークとみているため、やや減少するとみている。ただし、ゴールデンウィークの短期採用や夏シーズン向けの求人など、ふだんとは違ったニーズを見込んでいる。
▲	学校〔専門学校〕（就職担当）	・ 新卒の就職活動が前倒しになっていることで、前月から多くの求人や問合せを受けている。そのため、求人数が減少することも前倒しになるとみている。

用語の説明

【景気ウォッチャー調査】

- 地域の景気を観察できる立場にある人々から、統計指標からは把握できない顧客の様子など日々感じている街角の景気動向を迅速に把握するために、毎月実施されている調査。

【DI値】

- 生産や消費、物価などの景気変動に関する複数の指標から、景気の方方向性や各経済分野への波及度合いを示す。値が50を上回る期間が多いと景気が好況傾向にあり、50を下回る期間が多いと不況傾向にある。

【季節調整値】

- 季節的な要因で毎年同じような動きをするもの（夏にアイスクリームが沢山売れるなど）があることから、前月や前々月と比較する際に季節的な要因を除いた数値。

【現状判断(景気の方方向性)】

- 3か月前の景気状況と比較した、今月の身の回りの景気の具体的な状況などの説明。

【先行き判断】

- 2～3か月前の身の回りの景気を今月の景気と比較した際の判断理由。

※本資料は、2025年4月8日に内閣府が公表した「景気ウォッチャー調査」をもとに作成しています。詳細な結果は下記URLからご確認ください。
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/2025/0408watcher/menu.html>